

和魂洋才 世界のリーダーへ

武田薬品工業[®]

挑戦 する企業

「アイランド製薬大手シャイアーの買収で武田薬品工業の創業研究力は向上しますか。」
「研究開発の生産性は業界の問題であつたし、長い間、武田にとつての問題でもあつた。生産性を上げる取り組みは軌道に乗ってきてはいるが、シャイアーはそれをさらに加速してくれる。一つ

社長 **クリストフ・ウェバー**氏



「モダリティ（創薬手法）への考え方は。」「従来は（化学合成による）低分子医薬品だけで広範囲な疾患に対応し

ていた。それを変えて、疾患ごとに技術革新を追求する。モダリティに関わりなく、その疾患の中で使えるものを考える。」

後継者、社内軸に登用検討

例えば遺伝子治療は非常に興味深い将来のモダリティだ。武田は今その知見がないが、シャイアーは持っている。」
「ご自身は2025年まで社長を続けると話したことがありますか、なぜ25年なのですか。」

「最初（14年に入社してから）10年程度はいるだろうなと思つていた。どんな会社になりたいのかを示す『ビジョン2025』になぞらえた部分もある。25年には私は58歳で、年をとつてくる。10年もたてば、部下も私に飽き飽きすると思う。」
「そのころまでに後継者は育ちますか。」

「引き続き対話をし、我々のビジョンと買収の利点について説明を尽くす。株主の賛成は得られると自信を持っている。」
（この項おわり。齋藤弘和が担当しました）

「非常に重要なオプシオンだ。外部でも良いかもしれないが、やはり内部から登用していくことが肝要。その方が会社にとってリスクが少ない。」
「シャイアー買収に向けた新株発行のため、今後、臨時株主総会で3分の2以上の賛成を得る必要があります。」

「シャイアーの買収は非常に重要なオプシオンだ。外部でも良いかもしれないが、やはり内部から登用していくことが肝要。その方が会社にとってリスクが少ない。」
「シャイアー買収に向けた新株発行のため、今後、臨時株主総会で3分の2以上の賛成を得る必要があります。」